臺灣日日新報 夕刊 昭和十六年八月十五日（金曜日） 第二號 第一万四千八百六十三號

海鷲の重慶連爆行
着々多大の效果
敗殘首都、死灰の底へ

中支艦隊報道部發表

【○○發十四日同盟】中支艦隊航空部隊は四月重慶方面空襲の経驗に乘じ八月四日以來、敵最重要施設に對して連日連夜の大爆撃を敢行中なり、本爆撃は二回乃至五回の間隔を以て實施せられ、本月十四日午前五時三十分より同七時三十分迄、同午前十時より午後五時迄に於ける爆撃回數は四十七回に達せり、本爆撃に參加し戰果を擧げたる部隊は陸攻、艦攻、艦戰、偵察機の各部隊にして、十二日參加機數は實に百數十機に上れり、

【○○發十四日同盟】中支艦隊航空部隊は八月四日以來、敵最重要施設に對し連日連夜の大爆撃を敢行中なるが、本爆撃は二回乃至五回の間隔を以て實施せられ、本月十四日午前五時三十分より同七時三十分迄、同午前十時より午後五時迄に於ける爆撃回數は四十七回に達せり、本爆撃に參加し戰果を擧げたる部隊は陸攻、艦攻、艦戰、偵察機の各部隊にして、十二日參加機數は實に百數十機に上れり、

【○○發十四日同盟】中支艦隊航空部隊は四月重慶方面空襲の経驗に乘じ八月四日以來、敵最重要施設に對して連日連夜の大爆撃を敢行中なり

一農村の增產敢闘錄

水魔と闘ひ三日三晩不眠不休
三千石の米を護つた話

【東京發同盟】昨月末から降り續いた豪雨で各地の河川は氾濫し、水と闘ひその堤防の決潰を防ぐ為に不眠不休の努力を續けた農村の人々の美談が續出してゐるが、茨城縣猿島郡岩井町の農民が三日三晩不眠不休で三千石の米を護つた話は最も感激的なものである、同町は利根川の支流鬼怒川の流域にあり、今回の豪雨出水に際しては去る十日午前四時頃から同町の西北部を流れる鬼怒川の堤防が決潰の危機に瀕したので、同町の青年團員、在鄕軍人團員、消防團員、警防團員、學校生徒等約二千名は總動員で堤防の修築に當つたが、水勢は非常に強く、一時は堤防の上を越えて水が流れ出すほどであつたので、同町の青年團員は堤防の上に土嚢を積み上げて水の流れ出すのを防ぎ、また堤防の決潰箇所には數百本の杭を打ち込んで土嚢を積み上げ、その間に藁や筵を敷き詰めて水の浸透を防ぐ等の手段を講じ、十日午後一時頃から十一日午後一時頃まで二十四時間に亘つて不眠不休の活動を續けた結果遂に決潰を防ぎ止めることが出來、同町の水田三千石を水害から救ひ出すことが出來たものである

妻を死の重荷にうに總督美談

【新京特電】柴田總督は、かねて病氣療養中であつた夫人が、去る十六日午後一時二十分、新京日赤病院で逝去されたので、直ちに總督官邸に遺骸を安置し、同日午後四時から同官邸で通夜を行ひ、翌十七日午前十時から同官邸で發引を行ひ、午後一時から同官邸で告別式を行ひ、午後二時から同官邸で火葬に附し、午後三時から同官邸で骨上げを行ひ、午後四時から同官邸で還骨式を行ひ、午後五時から同官邸で精進落しの式を行ふ豫定であるが、總督は夫人の病氣療養中、常に夫人の枕頭を離れず、夫人の看護に當つてゐたが、夫人逝去後も、その遺骸を官邸に安置し、通夜、發引、還骨、精進落しの式に參列する外は、常に遺骸の傍を離れず、夫人の冥福を祈つてゐるので、總督の夫人に對する愛情の深さに、一同感激してゐる、なほ總督は、夫人の遺骨を奉じて、來る二十日頃、内地に歸還する豫定である

滅私奉公の感激譜

私事のため公事をおろそかに出來ぬ
苗栗街出身の謝君近く表彰

【新竹特電】苗栗街出身で、現在新竹州警察部に勤務してゐる謝金河君は、今回、同君の實父が病氣危篤の報に接したが、同君は、公務上、新竹州下の重要な警備會議に出席中であつたので、私事のために公事をおろそかにすることなく、會議終了後、歸郷することとなつたが、同君のこの美擧に對し、苗栗街出身の有志間から、同君を表彰しようとの聲が擧がつてゐるが、同君は、この表彰の話を聞くと、「私事のために公事をおろそかにすることは出來ない、表彰の話は斷つてくれ」と、極力辭退してゐる

(第三種郵便物認可)　昭和十六年八月十五日　(金曜日)　臺灣日日新報　第一万四千八百八十三號　(三)

臺灣と提携の空氣

青年に民主主義の殘夢

比島　軍閥勢力の根據地たる比島へ去る廿四日午前十時半頃着陸した一行は直ちに自動車にて比島各地民衆の熱狂的歡迎裡に比島の首都マニラに入城した

比島　比島は米國の植民地として米國の政治的、經濟的、文化的支配下にあつたが、一九四一年十二月八日日本軍の比島上陸と共に日本軍政下に入つた

比島　日本軍は比島を米國の支配から解放し、比島人の獨立を援助するとの建前から軍政を布いたが、一九四三年十月十四日比島獨立を宣言し、ホセ・ラウレルを大統領とする比島共和國が成立した

比島　日本軍は比島

成層圏 (41)

廣津和郎作　大貫松三畫

博士の候補者(四)

そこでたとうとう一緒に行くことになつた。

「何といつても女子がお世話にあつてるのだから、それはお即も喜べて見れなければ……」

前後左右に話しこあや子が餘り無殺氣だつたのを記して、母は喜を出る間に度々ついつたが、併し母が一緒に來て呉れる以上、あや子は何も不機嫌な顏をして見せる必要なかつた。富太と二人だけで旅行まで行くといふ事が、恥わもなくあや子は感じたのである。それも既に覺悟するなら何でもないが、在りがけの感になるといふ事が感じつたのである。そしてそれを自分が惡んで直ぐにも氣附するやうな富太が憎めてかかつてゐるのが感じに入らなかつたのである。そして更にその上に、それを無邪氣な顏をして母が氣附したといふ事に腹が立つたのである。

併し母が一緒なら何もかも安心である。學に遊べるといふ事は何といつても樂しい。あや子はすつかり快活になつてゐた。

それだから、ハイキング姿で兜虫してゐる富太の別莊ホームに、既に他に來て立つてゐる富太の姿を見つけた時には、彼女の方から先に手を上げて、

「富太さあん」と大きな聲でほんた時であつた。

「おお」かういひながら富太はにこにこしながら二人の間に近づいて來た。その時好を見ると、あや子は感じに、

「富太よ、とても」と快活にいつた。

白色のイージーコートに、同じ富地の運動ズボン、ニッカボッカを着き、丸打帽子をかぶつた富太の姿子は、同性から見ても上流の若紳士のハイキング姿であつた。上衣もズボンもその生地といひ流行といひイギリス者に違ひない。この出地地獄の時に何處でこんな立派な生地を探して來るのだらう。

見ぐ間になつてゐたリュックサックを背負つた二人の學生が、吃驚したやうな顏をしながらこつちを見て、何か囁き合つてゐた。併しあや子はそれを全く無關はなかつた。寧ろ得意にさへ感じてゐた。

別莊が近くなれば、母と共にやがて富太の兩親にも紹介されるであらう。富太の兩親は共に學者肌の人柄で、殊に母親は富太を溺愛してゐるといふ事であつた。

「まだ　その後の支那戰線は依然として進展せず、第二、四十師團の一部引揚の報道に接したのみで、目ぼしい戰況の變化もなく、從つて我が國民の支那事變に對する關心も漸次薄らいで來たやうに思はれる。

然し乍ら、事變は決して解決したのではなく、今後益々長期戰の樣相を呈して來たのであつて、我が國民は今後益々堅忍持久の精神を以て、この大東亞建設の聖戰を完遂しなければならない。

今回は、第一線將兵の勇戰奮闘に對する感謝の意を表すると共に、銃後國民の覺悟を新にし、時局の認識を深めるために、陸軍省の後援の下に、臺灣日日新報社主催で、臺灣出身將兵の武勳を中心とする臺灣出身將兵の武勳を中心とする臺灣出身將兵の武勳を中心とする

臺灣日日新報 (第二版) (明治一一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十六年八月十五日 (金曜日)

海鷲全力を擧げて 重慶に致命的空爆

中支艦隊報道部發表

【○○基地十四日發同盟】中支艦隊報道部十四日發表—百數十時間に亙る晝夜連續の重慶爆撃を敢行し來りたる海軍航空部隊は本日全力を擧げて同市上空に殺到荒廐の敵首都に致命的空爆を加へたり

又も昆明を急襲

【發○○基地十四日發同盟】中部仏印を基地とする我陸攻隊は十四日も昆明を空、兵工廠、飛行場を爆撃するとともに自由飛行を敢行、二ヶ所より火柱を擧げしめ全機基地へ歸還したが、その大火柱は四五、五里の洋上よりも認めうるほどであつた

陸鷲・洛陽、巴東を猛撃

【南京十四日發同盟】支那派遣軍報道部發表—陸鷲航空部隊第一、第二、第十一、第十二航空隊の各一部は十四日午前より午後に亙り洛陽、巴東、萬縣、重慶、成都、梁山、萬縣の各飛行場を爆撃、洛陽飛行場に在る敵機十數機を撃破炎上せしめ、巴東、萬縣、重慶の各飛行場に在る敵機數十機を炎上破壊せしめたり

敵輸送船を爆撃

【○○基地十四日發同盟】十四日午前同地を出撃した我陸攻隊は、揚子江上流の敵輸送船を爆撃、これに命中弾を與へ撃沈したり

信陽西北方敵を撃破

【發武漢十四日發同盟】河南省信陽西北方面に蠢動する敵に對し、我軍は十四日より十五日に亙る約三十數機の陸攻隊をもつて十四日午前八時より十時半に至る間、數次に亙り爆撃を敢行、敵の軍事施設に大打撃を與へたり

蔣抗戰陣營悉く爆砕

重慶殆ど廢墟と化す

【○○基地十四日發同盟】十四日の陸鷲の重慶爆撃は午前八時より十時半に至る間、數次に亙り敢行されたが、とくに第一次攻撃隊は八日の爆撃に懲りて高度を六千米に取り、十一日の爆撃隊はこれに倣つて高度を五千米に取つたので、日本軍機は全機何等の損害なく基地に歸還した

【ニューヨーク十三日發同盟】ニューヨークタイムス紙重慶特派員テイルマン・ダンは十二日の朝、重慶に對する日本空軍の爆撃に關し十三日次の如く報じてゐる

十二日午後になつて重慶の空襲警報が解除されたのは、實に十八時間ぶりであつた。この間、日本の爆撃機は、重慶の上空に現はれ、或は遠く去つたりしたが、その數は、一回の空襲警報の時間中に、二十七機から三十六機に及んだ。

市民、壕内の煉獄苦

一日廿二時間を避難

米記者報道

【ニューヨーク十四日發同盟】十二日午後になつて重慶に對し八回に亙り爆撃を加へた、とは先に報じた日本放送(八月十一日)の報道であるが、これに關する米國人記者の報道は次の如くである

十二日の重慶の空襲警報は、午前八時から午後七時まで、十一時間續いた。この間、日本の爆撃機は、三回に亙つて、重慶の上空に現はれた。

總督官房に"總務室"

設置決定

時局即應

重要政策意見を上申

府政の綜合的施策を審議

上申 制期的な總務室の役割

英米會談内容發表か

【ニューヨーク十四日發同盟】英米會談の内容は、ルーズベルト、チャーチル兩氏の會談終了後、ホワイトハウス報道部から發表されるものと豫想されてゐたが、ホワイトハウス報道部は、十四日午前十時半、次の如き簡單な發表を行つた

一、十三日の英米會談の經過は、ホワイトハウス報道部から發表されない

二、英國側からは、チャーチル首相、ビーバーブルック軍需相、ハリファックス駐米大使、ポータル空軍大將、ダッドリー・パウンド海軍大將、ディル陸軍大將、ハリマン大統領特使、ウェルズ國務次官、マッカラー陸軍次官補、ヤーンネル海軍次官補、ポーレー大使、ハリファックス駐米大使、ホプキンス大統領顧問、ビーバーブルック軍需相、ハリマン大統領特使、ウェルズ國務次官、マッカラー陸軍次官補、ヤーンネル海軍次官補、ポーレー

社說

佛の對獨協調と米國の態度
極東にも微妙な影響あらん

新勢力秩序樹立の拔差である今次世界戰爭は、獨の對英佛屈服から對ソ戰へと轉換し、所謂「電擊戰」なる世界の驚異は、獨逸の如何を問はず、また好むと好まざるとに不拘、曾つて歐洲不介入を中軸に經營し來つた國も、イヨ〳〵ノウの決意に迫られるに至つた。このことはひとり今次世界戰爭の本質を變轉なく物語つてゐるばかりでなく、一日現狀維持政策と見る世界の疾病も、動きを孕み始めた世界史的な轉換點にについてこそ指摘するならば、既往にも增して歐米史の法則を一步を出でないことを知るのである。現下世界の國際は、云ふならば、新勢力秩序力の態力が今日に於いて頂點を極め、その對立の極を激化してゐる時なのである。一見人間の歷史を作りつゝあると見える現在世界の國際は今日に於て依然に依然に歷史が人間に迫つてゐる點が深いのである。佛が若干獨英の調停から離脫し、獨逸の法則を一步を出でないものであり、モンロードクトリンを固執し「歐洲不介入」を高唱し來つた米國の孤立主義はすに終止するを以てして馬國の孤立主義はすに終止するを以てして馬國の孤立主義はすに終止するを以てして馬

第二回生存者行賞

譽れの殊勲甲四十二名

遺族に贈る血戰回顧

生殘り勇士の溫き集ひ

ノモンハン戰二周年近づく

全將兵鬼神の働き

荻洲中將激戰偲び殊勳者を語る

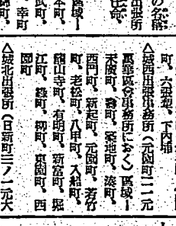
隨所に赫々の戰果

部下を讃へる田中憲兵司令官

臺北市城北出張事務所

奉公班指導に一役

臺北市役所出張事務所店開き



地下で鼠の生活

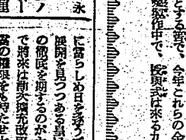
重慶は廢墟

脫出伊大使館書記官談

無言の行・眞摯な姿

全島學校長錬成會第三日

奉公運動の要諦



新に航空顯功章

民間の功績者に贈る

責任感の強い軍人

風早司令官、山脇部隊長の急逝を悼む

永年の地盤を捨て引揚げる邦人の群

新嘉坡の對日攻勢激化

臺北州青年歌決る

入選發表

志願兵一束

椙美堂

明るい名刺

辰馬海上火災

臺北市長町二丁目八番地 藤本ビルブローカー證券課 臺北支店

榮養美味 臺北 榮養食品工業株式會社

臺北信用組合 臺北市役所前

日本勸業銀行 臺北・台中・台南・高雄支店 勸銀は融産金 利率年五分八厘・簡易・迅速

臺北帝國大學 臺北市大學路

臺北帝國大學豫科 臺北市大學路

臺北高等學校 臺北市大學路

臺北帝國大學附屬醫院 臺北市大學路

臺北帝國大學附屬圖書館 臺北市大學路

(四) A 昭和十六年八月十五日 (金曜日) 臺灣日日新報 第一万四千八百八十三號 (第三種郵便物認可)

各地縱合版

高雄に工業學校

總豫算三百萬圓で高雄市に建設

南方基地に相應しい學園

【高雄特電十四日發】高雄市は第二臨時市會を開き市長より左記の諸案を提出、滿場一致可決した

一、高雄市立工業學校設置ノ件

一、高雄市立第二高等女學校設置ノ件

一、高雄市立第二尋常小學校設置ノ件

一、高雄市立第二實科高等女學校設置ノ件

一、高雄市立第二青年學校設置ノ件

一、高雄市立第二女子青年學校設置ノ件

一、高雄市立第二公會堂設置ノ件

一、高雄市立第二圖書館設置ノ件

一、高雄市立第二體育場設置ノ件

一、高雄市立第二市場設置ノ件

一、高雄市立第二火葬場設置ノ件

一、高雄市立第二公園設置ノ件

一、高雄市立第二墓地設置ノ件

一、高雄市立第二屠場設置ノ件

一、高雄市立第二水道設置ノ件

一、高雄市立第二下水道設置ノ件

一、高雄市立第二道路設置ノ件

一、高雄市立第二橋梁設置ノ件

一、高雄市立第二港灣設置ノ件

一、高雄市立第二飛行場設置ノ件

一、高雄市立第二病院設置ノ件

一、高雄市立第二傳染病院設置ノ件

一、高雄市立第二保育所設置ノ件

一、高雄市立第二託兒所設置ノ件

一、高雄市立第二職業紹介所設置ノ件

一、高雄市立第二職業補導所設置ノ件

一、高雄市立第二授産場設置ノ件

一、高雄市立第二救護所設置ノ件

一、高雄市立第二救濟所設置ノ件

一、高雄市立第二救濟院設置ノ件

一、高雄市立第二養老院設置ノ件

一、高雄市立第二孤兒院設置ノ件

一、高雄市立第二育兒院設置ノ件

一、高雄市立第二盲啞院設置ノ件

一、高雄市立第二癩病院設置ノ件

一、高雄市立第二結核病院設置ノ件

一、高雄市立第二精神病院設置ノ件

一、高雄市立第二性病院設置ノ件

一、高雄市立第二花柳病院設置ノ件

一、高雄市立第二皮膚病院設置ノ件

一、高雄市立第二眼病院設置ノ件

一、高雄市立第二耳鼻咽喉病院設置ノ件

一、高雄市立第二齒科病院設置ノ件

一、高雄市立第二婦人病院設置ノ件

一、高雄市立第二産婦人病院設置ノ件

一、高雄市立第二小兒病院設置ノ件

一、高雄市立第二老人病院設置ノ件

一、高雄市立第二身體障害者病院設置ノ件

一、高雄市立第二精神障害者病院設置ノ件

一、高雄市立第二知的障害者病院設置ノ件

一、高雄市立第二肢體不自由者病院設置ノ件

一、高雄市立第二視覺障害者病院設置ノ件

一、高雄市立第二聽覺障害者病院設置ノ件

一、高雄市立第二言語障害者病院設置ノ件

一、高雄市立第二重複障害者病院設置ノ件

一、高雄市立第二重複障害者病院設置ノ件

一、高雄市立第二重複